

市内3校にエコキャップ回収容器寄贈

能代南ロータリークラブ

エコキャップ

善意の行動を支援

能代南
R C 市内3校に回収容器寄贈

能代南ロータリークラブ(片谷会長)は26日、能代養護学校(大野孝助校長)を訪れ、ペットボトルのキャップを回収してポリオ(小児まひ)の予防ワクチンの購入費用に充てる活動に役立ててもらおうと、専用の回収容器(6500円相当)を寄贈した。

エコキャップ推進協会は、ペットボトルのキャップを回収することにより、800個につき20円で、ポリオの予防ワクチン一人分を購入して外国に送る「エコキャップ活動」を展開。同クラブは社会奉仕活動の一環として同活動に参加しており、同校、津南小、能代商高の3校に専用の回収容器を寄贈する。

この日は、片谷会長と社会奉仕委員の佐藤勤一さんが来校し、回収容器を贈った。同校は一昨年度からキャップ回収に取り組んでおり、奉仕活動委員会の大高雄基委員長(高等部2年)は「昨年

よりも多くキャップを集めたい」と意気込みを見せた。

片谷会長は「インド、パキスタン、アフガニスタンには小児まひの病気がある。貧しい方々のために寄付させてもらいた

い」と話し、大野校長は「大変ありがたい。子どもも奉仕活動にかかわれる。自然環境への関心も大事。輪を広げたい」と感謝した。回収容器は同校の昇降口前のフロアに設置する。



能代南ロータリークラブがペットボトルのキャップ回収容器を寄贈(能代養護学校で)